

令和6年度基礎学力調査結果の概要について

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

2 調査の対象

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校（義務教育学校含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査。（輪島市の小中学校を除く。）

調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して実施。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	187校	189校	81校
実施児童生徒数	8,319人	8,507人	8,335人
対象教科	国語・算数	社会・理科・英語	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
集計・分析対象者数	4,001人	4,042人	2,269人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校（義務教育学校を含む）における教員を対象に調査。

区 分	小学校	中学校
実施校数	66校	30校
実施教員数	1,085人	657人
調査の内容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

令和6年4月17日（水）

区分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3限		英語（30分）	英語（45分）
質問紙調査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

4 調査結果の概要

(1) 作問の工夫

前年度までの調査結果から明らかになった課題や学習指導要領で求められている力を踏まえ、活用を問う設問において、児童生徒のより深い思考力をはかることができるよう作問の工夫をした。

(2) 教科に関する調査結果

項目	小学校 第4学年		小学校 第6学年			中学校 第3学年		
	国語	算数	社会	理科	英語	社会	理科	英語
平均正答数（問）	13.6 /25	13.3 /22	19.4 /32	13.7 /24	16.6 /20	14.6 /32	17.2 /32	15.3 /30
平均正答率（%）	54.3	60.5	60.6	57.1	83.1	45.8	53.8	51.0
令和5年度比 ※中英は令和4年度比	-2.6	-5.5	+3.6	-3.1	-4.8	-6.9	+2.4	-2.0

※中学校第3学年英語は、令和5年度、全国学力・学習状況調査で実施され、県基礎学力調査では実施していない。

(参考) 〈小学校第4学年 算数〉の結果について

数と計算の領域において、整数、小数の四則計算については概ね良好。一方、平面で描かれた図を立体的に捉えることについては、引き続き課題が見られた。

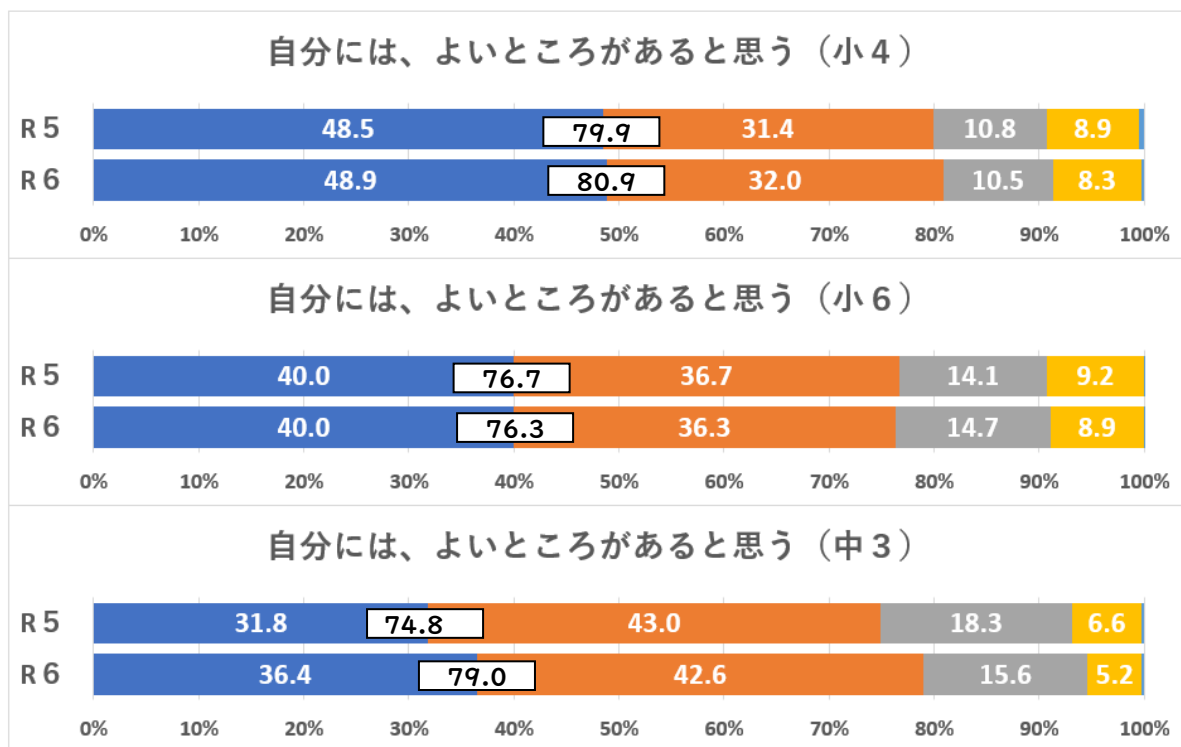
(参考) 〈中学校第3学年 社会〉の結果について

地理的事分野において、基礎的・基本的な知識については、基準に達している。一方、地理的分野、歴史的分野ともに、資料を基に考察し、適切に表現することについては、引き続き課題が見られた。

(3) 質問紙調査結果 (抜粋)

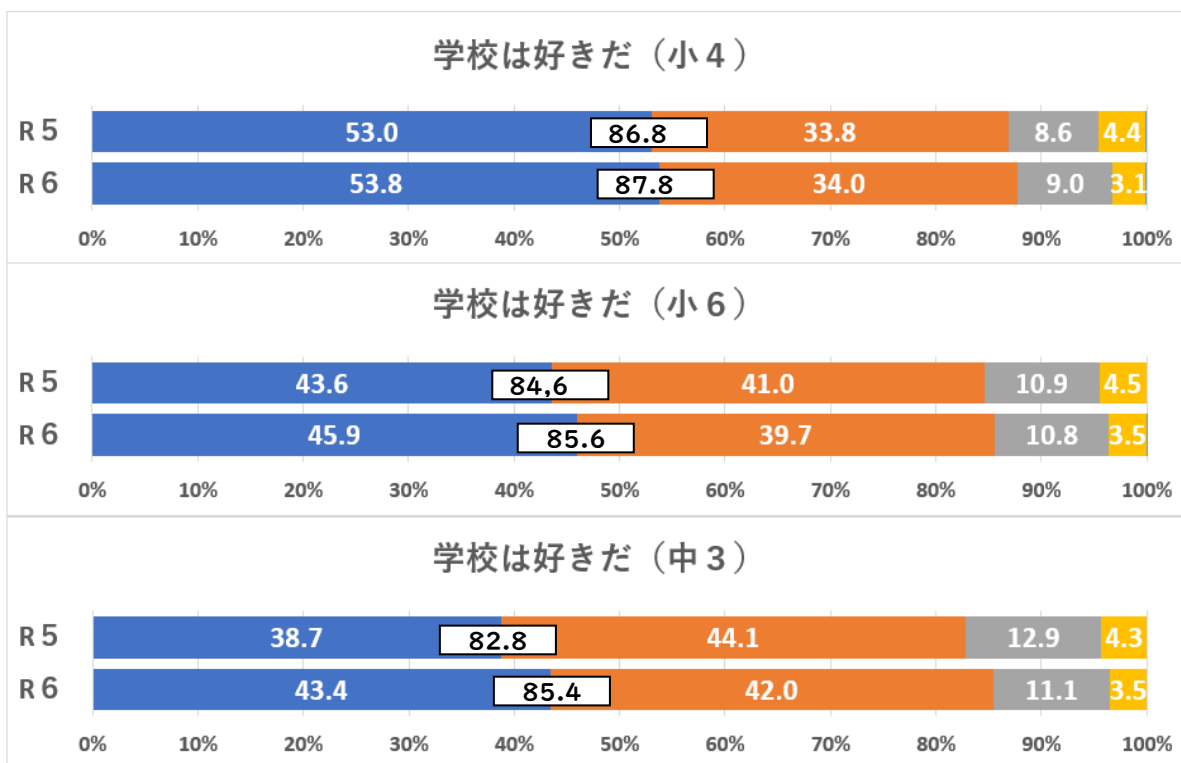
① 自尊意識・規範意識等に関すること【小学校第4、6学年、中学校第3学年対象】
項目「自分にはよいところがあると思う」

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



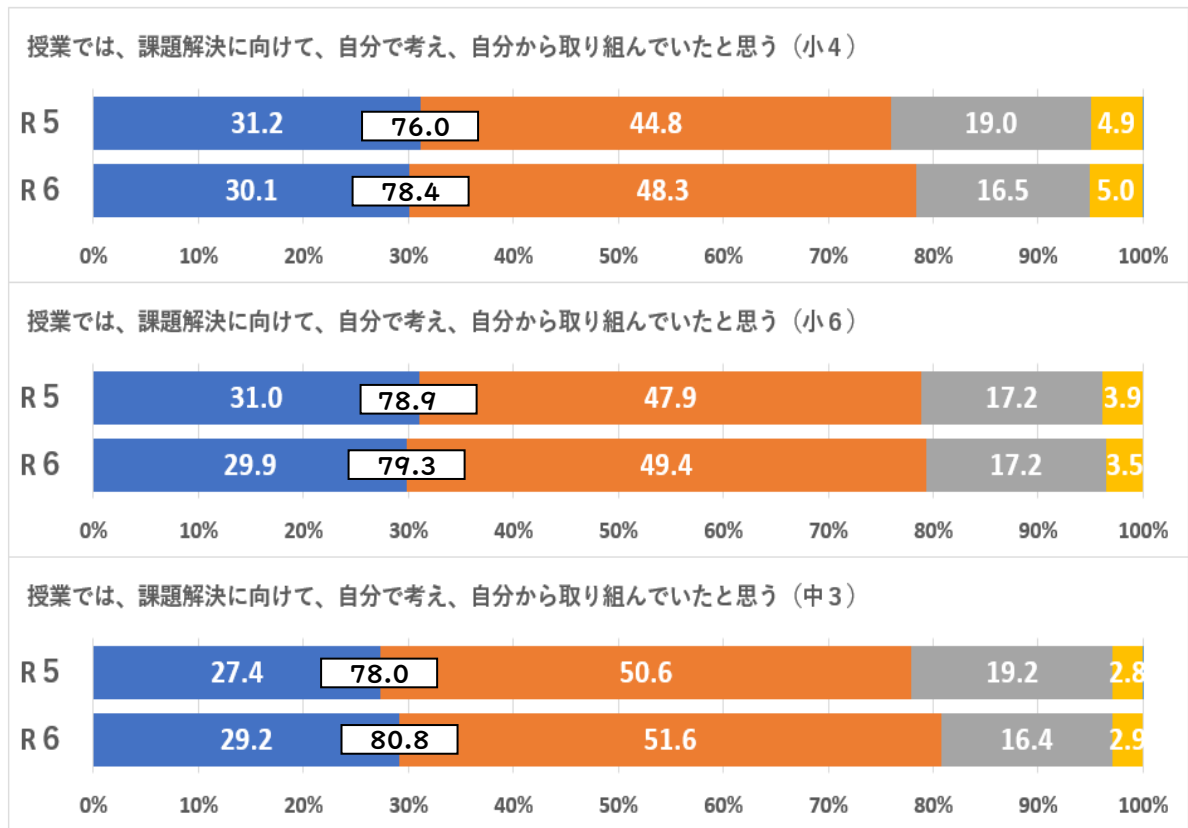
② 学校・学習に関する関心・意欲・態度【小学校第4、6学年、中学校第3学年対象】
項目「学校は好きだ」

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



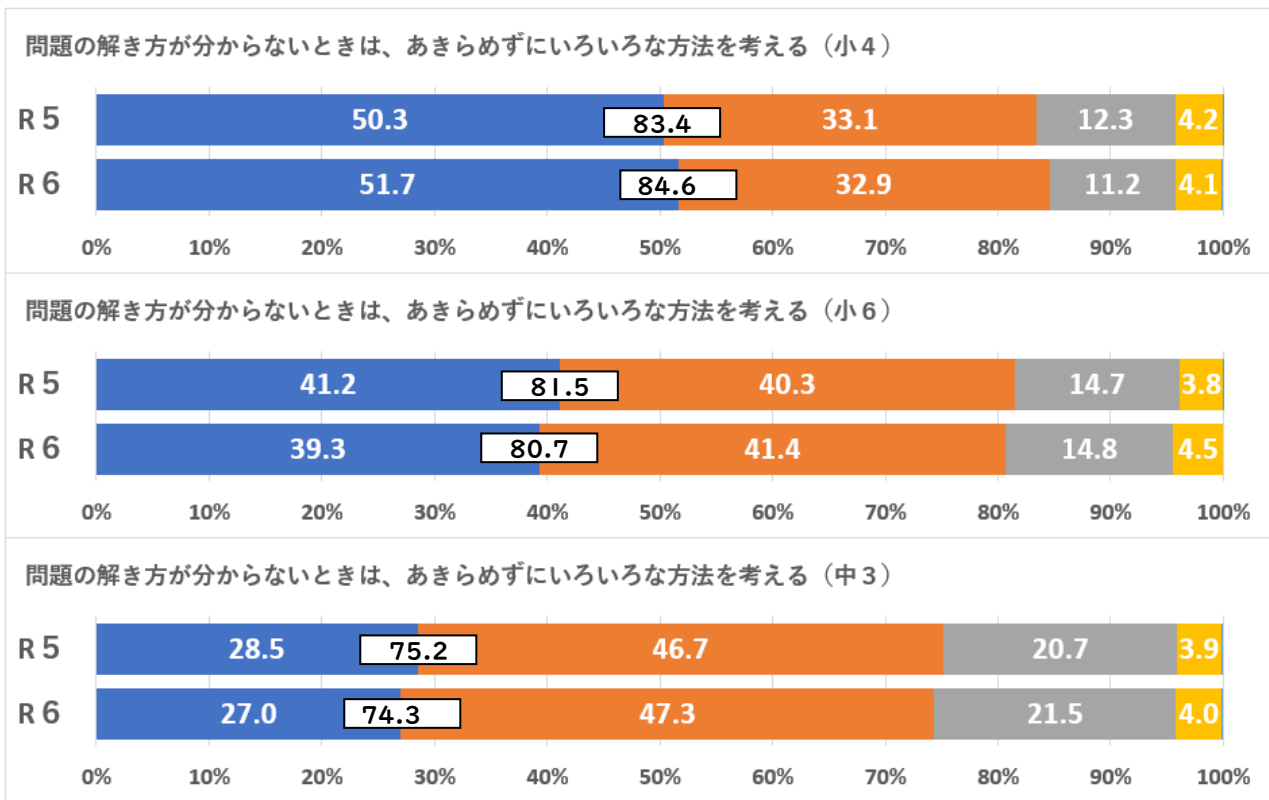
項目「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う」

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答

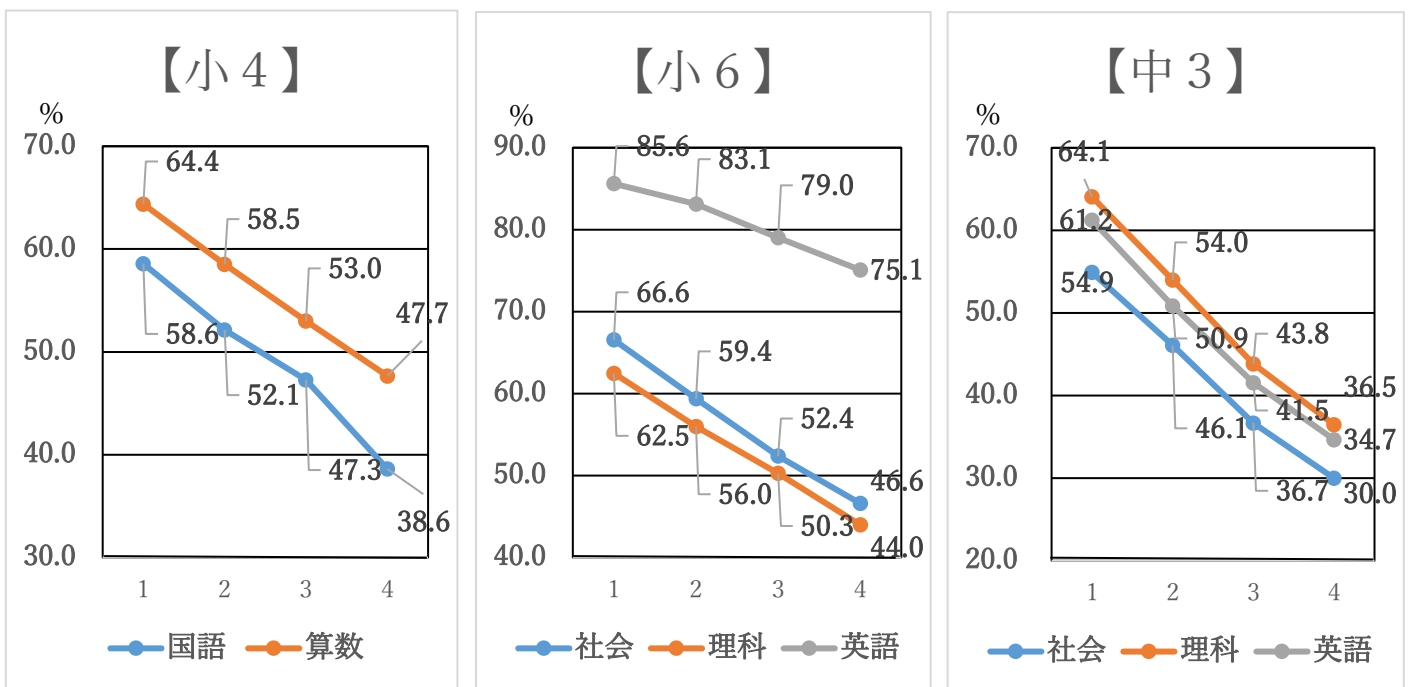


項目「問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」

■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■どちらかといえば当てはまらない ■当てはまらない ■無回答



参考 設問「問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」と対象教科正答率の関係



1 当てはまる 2 どちらかといえば当てはまる 3 どちらかといえば当てはまらない 4 当てはまらない